



大山

Oyama



今年の豊作を願って

2月27日、おおくぼ台梅園で「第42回日田おおよま梅まつり」の豊作祈願祭が開催された。新型コロナウイルス感染症対策のため、梅娘認証式や野点などは中止となり、関係者による豊作祈願祭のみ行われた。今年は寒い日が続いたため、例年より開花が遅くまだ蕾の木が多かったが、晴天に恵まれ、たくさんの観梅客が訪れていた。

上下流交流友好の広場に桜の植樹

2月24日、田来原美しい森づくり公園で桜の苗木の植樹が行われた。苗木180本は（公財）日本さくらの会から寄贈されたもので樹高は2mを超える。新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた「植樹祭」は中止となり、植樹は大山ダム水源地域上下流交流事業実行委員会の関係者のみで行った。この6年間で約1,300本の桜が植樹された。

上津江

Kamitsue



ひな祭りの由来を知ろう

3月3日、すぎっ子こども園でひな祭りが行われた。ひな祭りの由来、各人形や飾りの意味を説明したあと、園児がペアになって、おだいら様とおひな様に扮した。子供たちは、ひな祭りの始まりである「流しびな」の風習を描いた紙芝居を読んで、ひな祭りには「子供が丈夫に育つように」という思いが込められていることを学んだ。



恵方巻きを食べて元気に過ごそう！

2月3日、コロナ禍でミニデイができない中、70歳以上の一人暮らしの高齢者に少しでも季節行事を楽しんでもらいたいという思いから、雉谷地区民生委員・福祉委員が恵方巻きを手作りし、対象者14人に届けた。受け取った人たちは、思い掛けない立春のプレゼントに顔をほころばせ、お互いの近況報告などの話に花を咲かせた。



日田

まちの話題

Hita



ラグビー強化合宿

2月18日から25日まで（公財）日本ラグビーフットボール協会が、女子セブンズの強化合宿を陸上競技場で行った。2月21日には市長が訪問して「しっかり頑張って大会で良い成績を残してほしい」と選手たちを激励し、牛乳・ヨーグルトを差し入れた。選手たちは寒い中、チームメイトと声を掛け合いながら一所懸命練習に励んでいた。



子供たちの安全を守ります

2月15日、公益社団法人日田玖珠法人会日田支部から防犯ブザー506個の寄附をいただいた。これは、児童の登下校などでの事故の未然防止と青少年の健全育成に寄与することを目的としたもの。これに対し教育長は「子供たちの安全の確保と安全意識の向上のために大切にに使わせていただきます」と謝辞を述べた。



リヴァイ兵士長建立1周年 感謝の清掃

3月6日、日田駅前広場にリヴァイ兵士長が来て1年が経った。そこで銅像建立1周年の感謝の気持ちを込めて、リヴァイ兵士長の銅像磨きが行われた。これは「進撃の日田まちおこし協議会」が企画。水郷ひたキャンペーンレディなど関係者が水拭きやから拭きで汚れを落とし、最後はワックスでピカピカに磨いた。



豆田流しびなに願いませ

3月6日、第39回天領日田おひなまつりのイベントの一つ「豆田流しびな」が桂林荘公園で行われた。流しびなは、願い事を書いたひな人形を川の流りに浮かべる行事で、ひな祭りの原点とも言われている。当日は家族連れや観光客が次々と訪れ、それぞれの願いを紙びなに書き込み川に浮かべていた。